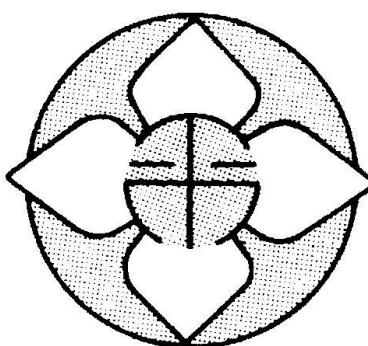


令和 7 年度

「運営に関する計画」
(中間評価)



大阪市立平野南小学校
令和 7 年 10 月

大阪市立平野南小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 6 年度に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果は、平均正答率では、国語・算数ともに全国、大阪市の結果を下回っている。国語では、全国とは 13.7 ポイント、大阪市とは 12 ポイントの開きが見られる。また、算数では、全国とは 10.4 ポイント、大阪市とは 9 ポイントの開きが見られる。また、平均無回答率については、国語・算数ともに全国、大阪市の結果より高くなっている。国語では、全国より 2.6 ポイント、大阪市より 3.5 ポイントの開きが見られる。また、算数では、全国とは 2.8 ポイント、大阪市とは 3 ポイントの開きが見られる。平均無回答率の高さが平均正答率を押し下げてしまっている要因の一つであると考えられる。

国語では、物語の人物像を具体的に想像することができるかどうかを見る問題については、平均正答率が全国より 0.4 ポイント、大阪市より 0.3 ポイント上回った。しかし、領域別で比較すると、どの領域においても全国、大阪市を下回っている。特に「書くこと」については、全国より 19.8 ポイント、大阪市より 17.3 ポイントの開きが見られる。伝えたいことを明確に表現したり記述したりすることへの課題があることが示唆された。

算数では、除数が小数である場合の除法の計算については、平均正答率が全国より 6 ポイント、大阪市より 7.3 ポイント上回った。しかし、領域別で比較すると、どの領域においても全国、大阪市を下回っている。特に「変化と関係」については、全国より 13.2 ポイント、大阪市より 12.3 ポイントの開きが見られる。道のり・速さ・時間の関係についての理解に課題があることが示唆された。

生活面について問う質問紙の結果は、いくつかの質問項目で全国、大阪市を上回る結果があった。その中で「授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」項目については特に良い結果となっている。しかし、「自分で学び方を考え、工夫している」というなどの項目で、全国、大阪市を下回る結果となっている。また、ゲームやスマートフォンの使用に関する質問において全国、大阪市よりも使用時間が極端に多い結果が伺える。さらに、就寝時刻が全国、大阪市より定まっていないことも質問調査により明らかとなつた。これらの学習習慣や生活習慣が児童の学習環境に影響を与える一つの要因であると考えられる。

令和 6 年度に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果は、実技調査における体力合計点は、男子女子ともに全国平均を上回っていた。種目別では、長座体前屈・50m走・ソフトボール投げが男子女子ともに全国平均を上回っていた。握力・上体起こしは男子女子ともに全国・大阪市平均を下回っていた。

質問紙調査の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に対し、「好き」と回答する児童の割合は、男子女子ともに全国・大阪市平均を上回っていたが、男子において「やや嫌い」「嫌い」と回答する児童の割合が全国・大阪市よりも高い結果となっていた。また、1 週間の総運動時間が 60 分未満の児童の割合は、男子女子ともに全国・大阪市平均を上回っていたが、420 分以上の児童の割合は全国・大阪市平均を上回っていた。

本校は、休み時間や放課後に外遊びをすることが好きな児童が多く、学級担任を交えたクラス遊びなども盛んに行なわれている。また、体力向上ための持久走や大縄跳びを全校で取り組むことで、冬季の運動量確保に努めている。しかし、校区の特性上公園が少なく、一旦家に帰ると遊べる場所が少なく発達段階に即した運動量を確保しにくい現状がある。質問紙調査の「スクリーンタイム 5 時間以上」の児童の割合が全国・大阪市平均よりも高いことからも放課後の運動量が少ないことが示唆される。今後も放課後の校庭開放をはじめ、遊びや運動ができる機会や場所を提供できるよう努めていきたい。質問紙調査の「体育の授業は楽しいですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合は、全国・大阪市平均を上回っていた。今後も体育科の授業改善を行うとともに、運動することの大切さや必要性の指導を継続していきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.08 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 40 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70 %以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 55 %以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 60 %以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.08 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 40 %以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70 %以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 55 %以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 60 %以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

- ・

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・

【学びを支える教育環境の充実】

- ・

(様式2)

大阪市立平野南消防署 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none">・児童が自己肯定感や自己有用感を感じることができる授業を実践する。・学級活動やみんな遊びを通して、互いを認め合える集団を育成する。	B
指標 <ul style="list-style-type: none">・学校生活アンケートで「大切な友だちがいる」と肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	B
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none">・自ら進んであいさつできる児童の育成。	B
指標 <ul style="list-style-type: none">・児童会を主体とした自発的な「あいさつ運動」に学期1回以上取り組む。・学校生活アンケートで「自分から進んであいさつしている」と肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	B
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none">・多様な価値観や文化を持つ子ども同士が互いの違いを認め合い、高め合える多文化共生教育を推進する。	B
指標 <ul style="list-style-type: none">・教職員を対象とした外国人教育の研修を年1回以上行う。・外部講師による異文化の体験的な学習に1学年以上で取り組む。	C
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none">・互いの違いを理解し、認め合う集団の育成に努める。・多用な体験活動を実施する。	C
指標 <ul style="list-style-type: none">・学校生活アンケートの「体験活動は好きです」と肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	

取組内容⑤【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

- ・年3回の避難訓練を行い、防災・減災教育を実施する。
- ・年1回の防犯訓練を行う。
- ・教職員を対象とした防犯研修を年1回以上行う。

指標

- ・学校生活アンケートの「火災や台風、地震の時や学校に不審者が来た時にどうすればいいかわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組の進捗状況の結果と分析】

- ①9月末に実施した学校生活アンケートの「大切な友だちがいる」の項目において肯定的に答える児童の割合は97.4%で目標を大きく達成できている。しかしながら、自己肯定感が高い児童が多いと感じる瞬間は少ない。
- ②児童会のあいさつ週間、朝の看護当番を中心に挨拶ができている。しかしながら、9月末に実施した学校生活アンケートの「元気に挨拶ができますか」の項目において肯定的に答える児童は76.1%で、決して高いとは言えない。また、自発的にあいさつすることが難しい児童も多い。
- ③ソンセンニム、C-NETとの給食交流により、外国人と触れ合える機会を作ることはできた。しかしながらオリニフェの参加児童が少なく、ソンセンニムと子どもたちの関わりも少ない。
- ④9月末に実施した学校生活アンケートの「体験活動は好きです」と肯定的に回答する児童の割合は89.4%で目標値を達成できていない。
- ⑤避難訓練については計画通り実施できているが、9月末に実施した学校生活アンケートの「火災や台風、地震の時にどうすればいいかわかりますか」の項目において肯定的に回答する児童の割合は89.6%で目標値を達成できていない。

次年度（今後）への改善点

- ①今後もみんな遊びやグループ活動、係活動など授業内外で「子ども中心」の活動を継続していくために学級での活動の工夫が求められる。児童会の「ありがとうカード」の活動などを通じて自分自身のことも認められる児童の育成に努めていく。
- ②あいさつ週間の活動を成果報酬型のものにし、自分から挨拶ができるきっかけを作っていくことを試みてみる。
- ③中国やフィリピンなど多様な国籍のルーツを持つ児童が増えており、世界のあいさつや料理の掲示や給食の紹介など、様々な外国の文化に触れる機会を作ることも大切である。
- ④各学年で出前授業や校外学習を行うことで多様な体験活動を実施していく。
- ⑤防犯訓練は今年から児童も参加する訓練に変更予定である。実際に体験することで効果的な学習機会になるとを考えている。

(様式2)

大阪市立平野南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標	達成状況		
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.08ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。 			

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図るため、朝学習の時間の活用や放課後学習に取り組む。 ・高学年において、教科別指導による学習指導を取り入れる。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール学習に各学年年間35時間以上取り組む。 ・小学校学力経年調査における、標準化得点を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。※3年生は前年度の3年生と比較する。 	B
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・木曜日の朝学習で「DREAM」を活用し、低学年からの英語活動に取り組む。 ・C-NETを活用し、楽しく英語に触れあえるようにする。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	B
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間に読書を楽しむことができるようになる。 ・「絵本広場」を開催する。 ・区の取り組みの「ひらちゃん読書ノート」を活用し、読書に対する意欲を高める。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートで「本を読むことは楽しい」と答える児童の割合を70%以上にする。 	B

取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- ・児童の体力保持増進のため、体育の学習、体育的行事の充実を図る。
- ・各学年の実態に応じた「学習カード」を作成し、活用を図る。
- ・冬の運動を実施する。

B

指標

- ・学校生活アンケートにおける「運動やスポーツをすることは好き」と肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- ・栄養だよりを活用し、食の大切さと規則正しい生活習慣について定期的に指導する。
- ・全教職員で食物アレルギーに対する理解を深め、アレルギー児童の共通理解を図り、食の安全に努める。
- ・給食週間を利用し、自分の食について振り返る場を作る。

B

指標

- ・全学年で栄養指導を年 1 回以上実施する。
- ・学校生活アンケートで「朝ご飯を毎日食べている」に肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組の進捗状況の結果と分析】

- ①行事などの都合で、朝学習ができない日もあるが、概ね計画的に朝学習に取り組めた。ミニプリントやデジタルドリルを活用して、既習事項の習熟度を高めるための学習に取り組んだ。また、習熟度の低い児童に対しては、休み時間や放課後の時間を使って、個別指導を行い、学習の定着を図ってきた。さらに高学年だけでなく、低学年や中学年でも教科別指導を取り入れ、より細やかな指導に繋がるよう努めている。
- ②木曜日の朝学習「DREAMタイム」を計画的に実施してきた。チャンツや SONG を活用し楽しく活動できている児童が多い。英語のワークシートやドリル、フォニックスなどにも取り組んでいるが、アルファベットなどの定着にはまだまだ課題がある。また、C-NET の先生とともに楽しく主体的に取り組む外国語学習を進められている。
- ③9月末に実施した学校生活アンケートの「本を読むことは楽しい」の項目において肯定的に回答する児童の割合は 69.9 %とほぼ目標値に達している。図書の時間を楽しみにし、隙間時間にも進んで読書をしている児童がいる一方、活字に親しみがない児童がいることも事実である。図書委員会が毎日図書館開放を行い、読書好きな児童はより読書を楽しむことができている。活字に親しみのない児童も、司書の方や平野図書館の方の読み聞かせには興味をもって取り組めている。
- ④9月末に実施した学校生活アンケートの「運動やスポーツをすることは好き」と肯定的に回答する児童の割合は 85.4 %であった。各学年の体育科の学習で、単元ごとに学習カードを作成し、指導計画にそって学習を進めた。しかし、昨今の異常気象により運動できる時間が制限されている。気候の良いときにできるだけ体を動かすことのできる活動を考えていきたい。

⑤9月末に実施した学校生活アンケートの「朝ご飯を毎日食べている」の項目において肯定的に回答する児童の割合は90.1%であった。多くの児童が朝ごはんを食べてきている。食物アレルギー対応については、栄養教諭や養護教諭を中心に、担任と連携しながら、日々誤食がないように努めた。新たな対応が増えて、児童や保護者の実態に合わせて迅速に行なうことができている。食の大切さは、栄養指導を通じて児童に知つてもらう機会を設けているが、機会としては少ない。

次年度（今後）への改善点

①取り組みを今後も継続していく。

②ゲームや歌など児童が取り組みやすい導入教材を取り入れたり、C-NETをより活用したりすることで、外国語の学習が好きだと思える児童を増やしていく。

③読み聞かせや読書週間、クイズラリーといった取り組みを行ったり、児童の作成したポップを飾ったりして本に興味をもたせ、読書が好きな児童が増えるようにしていく。授業時数の減少で特に高学年で図書の時間の確保が難しくなってきている。カリキュラムなどを見直し図書の時間の確保にも努めていく。

④今後は、学校全体として3学期にマラソン週間を予定している。カードの配布をするなど児童がより意欲的に活動できるような内容に改善していきたい。

⑤家庭環境に左右される部分が大きいが、自分で家にあるものを食べて登校するよう声かけするなど、朝ごはんを吃ることの大切さを折に触れて児童に伝え続ける必要がある。栄養だよりが配布された時や給食時間を活用して、食について考えることができるようにしていきたい。

(様式2)

大阪市立平野南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標	達成状況		
【学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況		
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ・「こころの天気」の入力を行う。 ・デジタルドリル「navima」を活用する。			
指標 ・スクールライフノートの「こころの天気」の入力を1日1回以上行うように声掛けする。 ・学校生活アンケートで「ICTを使った勉強は好き」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	B		
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・「ゆとりの日」「学校閉庁日」を設ける。			
指標 ・週に1回「ゆとりの日」を設定する。 ・夏季休業及び冬季休業に「学校閉庁日」を設定する。	B		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
【取組の進捗状況の結果と分析】 ①9月末に実施した学校生活アンケートの「ICTを使った勉強は好きですか」の項目において肯定的に回答した児童の割合は84.8%と目標を上回っている。「こころの天気」の入力は定着しつつある。また、隙間時間の学習や、復習に「navima」を活用している。しかし、タブレット端末のバッテリーの劣化や、故障、ネットワークの不具合などのトラブルで使用できないことが多い。 ②週に1回「ゆとりの日」を設定している。また、夏季休業に「学校閉庁日」を設定した。			
次年度（今後）への改善点			
①タブレット端末の更新が年明けに予定されている。大規模な入れ替え作業となるため、設定作業等ができるだけ速やかに行うようにし、児童が使用できない期間の短縮に努めたい。また、新しい端末はWindowsからGoogleへとOSが変更となるため、操作方法の習熟に努めていきたい。			

②今後も週に1回「ゆとりの日」を設定していく。また、冬季休業に「学校閉庁日」を設定する。